



静岡県バレーボール協会 強化普及委員会では
「チームのレベルアップ」と共に、
「選手のキャリアを通じた成長」

を応援します。

男子：1771人/2610人=67.8%
女子：1816人/4578人=39.6%

この数字は、令和3年度の男女別の中体連高体連のバレーボール部加入人数です。全国的にも他のスポーツと比べて特にバレーボールは中学→高校の継続率が低い（特に女子）と言われています。

静岡県バレーボール協会強化普及委員会では、普及→発掘→育成→強化の流れで強化普及事業を進めています。育成年代でのバーンアウトやスポーツ障害、勝利至上主義で、バレーボールを離れたり、二の足を踏んでしまう選手を一人でも減らすことは喫緊の課題でもあります。

SVA のすべてのカテゴリーの指導者は

1. 育成年代での勝利を目指すことはもちろん大切ですか、極端な勝利至上主義により、選手の「キャリアを通じた成長」が妨げられることのないように配慮します。
2. 各専門部のガイドラインに定められた「活動時間を遵守」し、選手にとってもコーチにとっても「社会に認められる」持続可能な活動となるように留意します。
3. 主体的に考え、行動し、成長出来る「アスリート」育成の為に、指導者も常に学ぶ姿勢を持ち「アスリートセンタードコーチング」を行います。
4. すべての選手が、技術の優劣に囚われず「(自分の)なれる最高の自分になれるよう」バレーボールを通じて自己実現を計ることが出来る環境を整えます。
5. 自チームの強化のみならず、「(複数チームで)協働・(指導者で情報を)共有・(他カテゴリーとも)協力」してバレーボールの輪を広げていきます。(公益性)
6. 指導の現場から体罰・暴言※などの一切のハラスマントを排除し、バーンアウトやスポーツ障害、行き過ぎた指導によってバレーボールを諦めたり、二の足を踏んでしまう選手を無くします。

※ 1. 指導者の選手に対する暴言

- (1) 人格、人権、存在を否定する言葉（例ークス、邪魔、出ていけ、帰れ、死ね、てめえ、この野郎、貴様）
- (2) 自尊心を傷つける、能力を否定する言葉（例ー役立たず、下手くそ、アホ、バカ）
- (3) 身体的特徴をけなす言葉（例ーチビ、テフ）
- (4) 恐怖感を与える言葉（例ー殴るぞ、しほくぞ、ぶっとぼすぞ、帰りたいの？、試合に出たくないの？）

2. 指導者の暴力的（攻撃的・虐待的含む）振る舞い（行動・行為）

- (1)殴る・蹴るなどを連想させる行為
- (2)フレーヤーと近接（顔の目の前、腕一本分より近い距離）して高圧的威圧的に指導する行為
- (3)「おい！」「こら！」と大声でフレーヤーを高圧的威嚇的に指導する行為
- (4)継続的、かつ、度を超えた大声でフレーヤーを指導する行為、いわゆる怒鳴り続ける行為
- (5)物に当たる、投げる、床を蹴るなどの行為

静岡県バレーボール協会 強化普及委員会 公募事業一覧

強化普及委員会では、下記の新規事業について、公募により事業を行う予定です。令和5年度より中学校では学校部活動の外部化も進み、育成年代において競技団体の果たす役割が大きくなります。高カテゴリーのチームでは「自チームの強化」から、他のカテゴリーも含めた「自地域の強化」を考えなくては、「競技そのものの未来」が失われることにも繋がりかねません。そこで、各地域での普及・育成・強化を推進すべく下記の事業を計画しました。

○「地域連携競技力向上事業」

1 事業概要

地域の高等学校・中学校・(小学校)が連携してカテゴリーを超えた練習会を行い、地域の競技力向上や競技人口の確保、指導者コミュニティーの構築の一躍を担う。

2 事業内容

- ・下記小地区ごとに、地区の高等学校が中心となり、定期的に練習会や指導者交流研修会を行う。
- ・競技人口拡大や競技継続人数の増加、指導者コミュニティーの構築を目的とした練習会とし、単独チーム同士の練習試合の場とならない様に留意する。(男女共催可)

小地区:東部地区(賀茂東豆、沼津駿東、三島田方、富士富士宮等)中部地区(静岡・志太榛原等)

西部地区(小笠掛川・磐周・浜松・湖西等)

3 予 算 4万円(報償費・旅費・使用料・需用費・役務費・保険料等)※詳細は要項にて

○「放課後児童クラブ バレーボール教室」

1 事業概要

地域の高校生(大学生・実業団・ママさん)がバレーボール未経験の小学生にバレーボールの魅力を発信することで中学校年代の競技人口の確保の一躍を担う。

2 内 容

高校生が小学生(放課後児童クラブ児童)とのバレーボールを通じた交流(スマイルバレーボール・バドミントン簡易ネット)を行う事で、バレーボールに親しみ、地域小中学校の競技人口拡大を図ると共に、スポーツに親しむ習慣を育む。

3 予 算

1事業につき、スマイルバレーボール×2、バドミントン簡易ネット×1を支給

(事業終了後は放課後児童クラブに寄贈) ※詳細は要項にて

各事業の問い合わせ先 戸塚 裕之(静岡県バレーボール協会強化普及委員長)
hiroyuki01.tostuka@edu.pref.shizuoka.jp